

## ファイナルレポート

第12回 国際ラボテクノロジー・分析技術・バイオテクノロジー専門見本市  
 2024年11月18日~20日  
 中国・上海新国際見本市会場

2024年11月25日

## analytica China 2024 未来のラボで科学技術の新時代を探索

### Summary

- 展示面積は約 85,000 平米、出展社数は 1,200 社超、総来場者は 40,106 人を数え過去最高を記録
- フューチャー・ラボラトリー・スペース (Live Lab) が多くの来場者を魅了



### Facts & Data

会期	2024年11月18日(月)~20日(水)9時~17時 (最終日のみ16時まで)
会場	中国・上海新国際見本市会場
主催	Messe München GmbH - メッセ・ミュンヘン Messe Muenchen Shanghai Co., Ltd. - メッセ・ミュンヘン 上海
規模	85,000 m <sup>2</sup> (2023年度 80,000 m <sup>2</sup> )
出展社数	23カ国から1,200社 (2023年度 1,273社)
来場者数	40,106人 (2023年度 40カ国から 56,864人)
専門分野	分析・ラボ技術、品質管理、バイオテクノロジー、ライフサイエンス、診断技術
主な出展製品	分析・診断機器・処理・技術、クロマトグラフィ・分光分析、検査・測定・品質管理、情報・サービス、ラボ装置・機器・データシステム、試薬・化学製品、バイオテクノロジー、環境保護機器・技術、食品衛生機器・技術
出展日系企業 (現地支社・代理店出展含む)	アズワン(株)、(株)アタゴ、板橋貿易(株)、オルガノ(株)、樫山工業(株)、(株)ガステック、京都電子工業(株)、コフロック(株)、ジーエルサイエンス(株)、スガツネ工業(株)、高砂電気工業(株)、東亜ディーケーケー(株)、東京理化学器械(株)、東ソー(株)、日本エアータック(株)、日本電子(株)、日本分光(株)、浜松ホトニクス(株)、(株)日立ハイテク、PHCホールディングス(株)、フロンティア・ラボ(株)、(株)マイクロサポート、松山商事(株)、三浦工業(株)、ヤマト科学(株)、(株)レゾナック 他(50音順)
専用URL	<a href="http://www.analyticachina.com.cn/en">www.analyticachina.com.cn/en</a> (英語) <a href="http://www.analyticachina.com.cn/cn">www.analyticachina.com.cn/cn</a> (中国語)

analytica China 2024 と Labtech China Congress 2024 は、Shanghai New International Expo Centre で、ラボ業界に活発なアイデア交換と技術交流の饗宴をもたらし、成功裏に閉幕した。

今年、analytica China は、業界相応の技術とノウハウを交換する壮大な会議を開催し、将来のラボとの出会いを提供し、科学技術の新しい領域を探求させた。出展者数は 1,200 社を超え、総来場者数は 40,106 人で、その内、国外からは 2,908 人。いずれも過去最高を記録した。総面積約 85,000 平方メートルの 8 つの展示エリアでは、様々な新しい機器や装置、革新的テクノロジー、最先端ソリューションなどが紹介された。そして、見本市の目玉である二重没入型のフューチャー・ラボラトリー・スペース(Live Lab)は、多くの来場者を魅了した。



メッセ・ミュンヘンの CEO でメッセ・ミュンヘン上海の会長を務める Reinhard Pfeiffer は、このイベントを高く評価して、「analytica China 2024 は、約 85,000 平方メートルの展示スペースを有しているながらも、その規模において新たな節目を迎えている。23 カ国・地域から 1,200 社を超える出展者が最先端のイノベーションを紹介し、そのうち 500 社もが初出展である。そして、外国企業の占めるスペースが昨年比 72 パーセントも増加した。これらの大きな数字は、analytica China が、業界のリーダーたちのネットワーク構築と知識共有のための重要なプラットフォームであることを裏付けている」と述べる。

メッセ・ミュンヘン上海のプレジデント・チャイナ Evan Sha は、「2002 年、analytica China の初開催から 22 年になる。私たちは分析・生化学・ラボラトリー産業の発展の下で共に歩み、ラボラトリー産業の始まりから今日の繁栄までの成長を目の当たりにすることができて、本当に幸運であった。analytica China は、科学研究の肥沃な土壌に静かに芽吹く種子のように、長年にわたる努力と挑戦を経て、分析、生化学技術、診断、ラボラトリー技術のアジアにおける重要なプラットフォームとなった。私たちは新たな歴史的出発点に立つ今、初志を堅持し、時流に則して、今後もラボ業界の持続的な繁栄と発展に貢献できるよう力を合わせていきたい」と述べている。

8 つの展示エリアは全面的にリニューアルされ、新製品や新技術の展示と交流のプラットフォームに生まれ変わった。独自の理念、専門的組織、業界への広範囲な影響力を持つ analytica China は、



WALDNER 社、Hanguang 社、San グループ、Erlab 社、Road グループ、Avantor 社、Haier 社、TissueGnostics 社、Shinva 社、LabTech 社、Titan 社、JET BIOFIL 社、Duoning 社、Hanon 社、EXPEC Technology 社など、国内外から多数の有名企業を誘致し、分析、生化学、ラボ業界の革新的な発展を共同で推進している。展示会場では、新製品、新技術、新ソリューションが続々と紹介され、出展者にとって、自社の強みのアピールや販路拡大への絶好の場となっている。

**Laboratory Safety Exhibition Area** は、ラボにおける研究者の安全をあらゆる面から守る、まったく新しい概念を提示

今年、ホール N1 に、「Laboratory Safety Exhibition Area」がアップグレードしてオープンし、換気システム工学、消毒・清掃設備、安全設備、防火設備、セキュリティ設備、個人用ラボラトリー機器、ラボラトリー廃棄物処理などにおける革新的な技術と製品が紹介された。ここでは、ユーザーに総合的なラボラトリー・セイフティ・ソリューションが提供され、ラボ建設における省エネと二酸化炭素削減や研究員の安全確保など、「人とラボ環境の調和のとれた発展」というコンセプトを提示している。

## 2つの特別展示エリアが再度アップグレードされ、これからのインテリジェントラボにおけるデジタル変革の新たな方向を明示

今年の見本市は、「ライフサイエンスとバイオテクノロジーと診断」、「分析と品質管理」、「サンプル前処理と一般検査機器」、「ラボラトリー設計・建設・管理」、「ラボラトリーセーフティー」、「中国コア技術エリア」の6つの基本展示エリアは、昨年来高い評価を得ている。また、「ラボラトリーオートメーションとデジタル化」、「ラボラトリー機器のコアコンポーネント」の2つの主要エリアは、新製品、技術、サービスといった面から、より多様な製品を展示するために全面的にアップグレードされた。このように8つの展示エリアは全面的にリニューアルされ、展示品は適正に分かり易く分類されており、来場者は便利で効率的に行動することができた。

「ラボラトリーオートメーションとデジタル化」の展示エリアでは、「Intelligence(インテリジェンス)」「Efficiency(効率性)」「Safety(安全性)」の3つのコアキーワードを中心に展開されている。AI、ビッグデータ、5G、IoTなどの技術を取り入れることによって、ラボはインテリジェントな管理と最適化された資源配分を実現し、研究の効率と品質を向上させることができる。このように、ラボにおける技術革新と産業の高度化に新たな活力が注入され、インテリジェントで効率的かつ安全なラボの未来が描かれている。



この展示エリアでは、自動化装置、自動液体処理ステーション、自動測定技術、データ管理ソリューション、自動化ソフトウェアとシステム、自動画像処理技術、協働ロボットなどのラボラトリー技術と製品を取り上げている。そして、製品展示や同時開催のカンファレンスを通して、ラボの自動化とデジタル化の分野における新製品、新技術、アプリケーション、ソリューションを紹介し、将来のラボのインテリジェントな開発の促進やラボにおける技術革新の強化と研究開発の増進を支援している。

実験装置展示エリアのコアコンポーネントは、「自主的な研究と革新」に基づく新しい高品質の生産力を推進している。一方、このセクション内の光電技術とレーザー技術を統合した革新的技術は、研究機器の性能を高める新しい方法を示し、ラボの効率的な科学研究を強力にサポートしている。

この展示エリアは、センサー、マイクロ流体チップ、検出器、電子部品、中空カソードランプ(HCL)、電子流量計、光電子増倍管(PMT)、電極、回折格子、熱電対、クロマトグラフィ/質量分析スペアパーツ、光源、クロマトグラフィカラム、ポンプ/バルブ製品、光学部品、顕微鏡レンズ、フィルター、小型モーター、精密部品などの注目分野をカバーし、総合設備メーカー、ソリューションプロバイダー、研究機関、主要な研究所を含む業界関係者に、科学機器とコアコンポーネントの包括的なソリューションを提供することを目指している。

## 国産機器が台頭し、中国の実力を顕示

今年、国産の科学機器は勢いを増し、外観デザイン、インテリジェントインターフェース、データ伝送などの面で優れた成果を上げている。国策による強力な支援を受けて、ハイエンドな国産機器の開発を促進することは、中国の分析ラボ業界を新たな高みへと押し上げる中核戦略となっている。

この戦略の狙いは、国内市場と国際市場の緊密な相互連携、効果的な資源の共有、相互の技術進歩を奨励し、中国の分析ラボ産業の活気ある発展を総合的に促進することである。注目の中国コア技術エリアには、国内の主要な計測器ブランドの「中国力」が集結し、中国が最先端の科学技術とハイエンドの計測器開発で成し遂げた画期的な成果が紹介された。

## ライフサイエンス分野の新しいアプリケーションを集め、生物学のためのワンストップサービスとコミュニケーションプラットフォームを構築

一連の国家的重要政策に後押しされ、ライフサイエンス産業はかつてないスピードで発展している。特に、新しい質の高い生産力、合成生物学、遺伝子編集の出現は、従来のモデルを破壊し、業界の競争力を高

め、ライフサイエンスの発展に尽きることのない推進力を与えている。これらの技術を応用し、医療検査、ワクチンの研究開発、ハイエンド医療機器、漢方医学など、様々な分野で革新的な開発が進められている。

「ライフサイエンスとバイオテクノロジーと診断」の展示エリアは、analytica China の主要な展示エリアの1つとして、ライフサイエンス研究、ヘルスケア、臨床診断、革新的な医薬品の研究開発、細胞・遺伝子治療に対応するオールインワンのサービスとコミュニケーションプラットフォームを構築するように意図されている。analytica China では、ライフサイエンス分野の有名企業が自社の先端機器、生化学試薬、診断機器・試薬、消耗品、アクセサリ、技術サービスを展示した。ホール N5 にはバイオテクノロジーと研究開発サービスの展示エリアが設けられ、展示品とその応用分野に分けて紹介された。そして、同時開催のフォーラムやトレーニングセッションへの参加も合わせて、このエリアでは出展者とユーザーの交流が深められた。

## 11 のテーマ別フォーラムと数百件のフォーラムレポートが、注目のホットピックに焦点を当て未来を探る



見本市と併行して、11 のテーマ別フォーラムが開催され、数百件のフォーラムレポートの紹介があり、分析化学、バイオメディカル、機器と装置、サンプル前処理、食品安全、臨床診断、精密医療、ラボ運営の計画と管理など、ユーザーが特に関心を寄せる数多くのトピックが掘り下げられた。見本市には業界の有識者や著名な学者が多数参加し、知的交流を深める注目の講演が数多く行われた。今回の見本市の目玉は、第 10 回上海国際分析化学シンポジウム (CCS) である。9 つのテーマ別フォーラムと複数のセミナーで構成され、87 名の著名な専門家が参加して行われ

た。包括的で専門的、かつ洞察に富んだ一連のプレゼンテーションが行われ、業界関係者に貴重な知識と刺激を提供した。

## ラボの革新的な技術と製品のデモンストレーションが、没入感のある未来のラボ空間を創出

今年の Live Lab のテーマは、「Zero-carbon Laboratory」と「The Power of Innovation in Animal Laboratories」であり、Shanghai Construction Group と共同で、「Sustainable Development Booster of GreenBasics Laboratory」と「Laboratory 4.0- Future Digital Laboratory」をテーマに開催された。Live Lab では、基調講演、ワークショップ、製品展示を通して、安全で快適、環境に優しく、インテリジェントで持続可能な未来ラボの構築を目指した新しいラボテクノロジーと製品を紹介し、参加者に臨場感あふれる体験を提供した。更に、実験動物業界で有名な総合サービスプロバイダーの KAICHUN は、同業界企業の数社と協力し、「Leading the Innovative Power of Animal Laboratories」というテーマで、実際の動物実験室でのシーンのシミュレーションを介して、実験動物業界の最先端のアプリケーションと開発動向を鮮明に紹介した。

次回 analytica China 2026 は、2026 年 11 月 16 日から 18 日まで、Shanghai New International Expo Centre で開催予定。

詳細は、見本市の公式ウェブサイトをご覧ください: [www.analyticachina.com.cn/en](http://www.analyticachina.com.cn/en)

資料請求、各種お問い合わせ先: メッセ・ミュンヘン 日本代表部  
株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-20-3 ノアーズアーク虎ノ門 5 階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 E-mail: [info@messe-muenchen.jp](mailto:info@messe-muenchen.jp)

URL: [www.messe-muenchen.jp](http://www.messe-muenchen.jp) (日本語) [www.messe-muenchen.de](http://www.messe-muenchen.de) (英語 / ドイツ語)